

図書館 だより

泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつづやき

色のきれいなスイカの絵本。
 ついつい食べたくくなります。
 ゴボウ



新着・お薦め図書

泗水図書館

黄金の時 堂場瞬一 著
 勁草 黒川博行 著
 誓約 葉丸 岳 著
 続・竹林はるか遠く ヨーコ・カワシマ・ワトキンス 著
 子どもと読みたい絵本 200 (洋泉社 MOOK)
 頂点への道 錦織 圭/秋山英宏 著
 ぼくと戦争の物語 漆原智良 著
 えいっ 高畠 純 絵

中央公民館

パリジェンヌのつくりかた カロリーヌ・ド・メグレ 著
 みちくさ(3) 菊池亜希子 著
 サンジの満腹ごはん SANJI 著
 パラ大図鑑 上田善弘 監修
 ラプラスの魔女 東野圭吾 著
 ルルとララのフレンチトースト あんびるやすこ 作
 とおくがみえるね、ムーミンロール トーベ・ヤンソン 作

七城公民館図書室

桜の下で待っている 彩瀬まる 著
 荒木飛呂彦の漫画術 荒木飛呂彦 著
 ジュニア空想科学読本(4) 柳田理科雄 著
 ふりかえれば名探偵 杉山亮/中川大輔 作/絵

旭志公民館図書室

ブラック・ベルベット 恩田 陸 著
 アナと雪の女王ボールペンイラスト プティック社 編
 鬼のおっけげー 夢枕 獏 作
 しかけがいっぱい!紙でつくる楽しいお家 ムラバヤシケンジ 著

こんにちは!七城公民館図書室です!

七城図書室は、七城公民館の1階にあります。6月に新しい棚が入りリニューアルしました。現在約1万冊を所蔵し、話題の新刊や雑誌、大型絵本などをそろえています。

季節毎のテーマに応じた展示も行っています。絵本コーナーでは、靴を脱いでお子さんと一緒にゆっくりと本を読むことができます。勉強机もありますので調べものや勉強にお使いください。

毎月第3土曜日には読み聞かせを行っています。みなさんのご来室をお待ちしています!



私たち司書になんでもお尋ねください!

耳より情報

～夏休み工作教室～ 貯金箱を作ろう!

とき 8月22日(土) 午後1時30分～3時30分
 ところ 旭志公民館図書室
 対象 小学生以上
 定員 10人程度
 期限 8月15日(土) (要予約)
 申込方法 電話または直接、旭志公民館図書室までお申し込みください。

☆泗水図書館夏休み特別企画☆

★毎日おはなし会 おはなし会を毎日届けます。
 とき 8月23日(日)まで 午後2時～午後2時30分
 ★読書マラソン 本を読んでスタンプを集めよう!
 とき 8月23日(日)まで
 ★図書館コンサート 美しい音色が図書館に広がります!
 とき 8月15日(土) 午後2時～3時 (入場無料)
 ★お楽しみ会
 とき 8月16日(日) 午後2時～3時
 ※詳しくは館内チラシ、ホームページをご覧ください。

万句の里俳句会 6月例会

育て来し柚子のはじめて花つけし 緒方 朋子
 住き旅の憶ひを買ひし夏帽子 松永 久子
 釣り糸を切つて逃げしは濁り鮒 中路 郁子
 酒蔵や鳶の若葉に包まれて 田中ひさ子
 衣替で憂きこと総べて脱ぎ据てし 稲田 羚子

せせらぎ俳句会 6月例会

二十幾年わかれし人や螢の夜 村山 数恵
 梅雨寒や背に力入れ靴を履く 藤本アツ子
 走り梅雨拝借申す忘れ傘 五丁 義昭
 日暮待てず花火をせがむ幼かな 服部 静子
 明易を覚めて戦の日を憶ふ 藤本 邦治

旭志文芸教室俳句の会 6月詠草

風薫る故郷に帰し鬼籍入る 芹川 蓉子
 にこやかに道行く人や風かほる 水谷 ミネ
 コンバイン響く峡の田麦の秋 芹川のり子

笑い声空に弾ける新茶摘み 中尾ヨシコ

肥後狂句桜会 6月例会
 狸寝入り 今日覚ますと親不幸 小川 繁美
 分の悪い 諭吉に加勢頼まん 狩野 本六
 読み返し リスクは細う書いてある 窪田 明德
 まじですか 俺が死んだら金庫見ろ 田中 孝幸
 夜の街 まだ帰るには早すぎる 田中レイ子

肥後狂句水笑会 6月例会

よか気色 にこにこしとる年金日 中島 五女
 よか気色 えくろて遊びはってかす 宮上 美由
 酒煙草 二十歳できっぱりやめまし 吉岡 三水
 た もどかしさ いつになつたらキスするの 柏原 乗仏
 二度寝入り 目覚ましとめて又眠る 御手洗三代

七城短歌会 6月詠草

菜園に茄子の小さき実覗くなり食材 緒方 寛子
 ならむ日も遠からぬ 花畑を過ぐる風あり強弱に風車がまわる我遊ばせて 木下 陽子

窓越しに施設の軒先糸伝い蜘蛛が巣 づくるみるみるうちに 岩崎 照代

「里」短歌会 6月詠草
 踏み固めし土に根を張る雑草を深呼 吸しては一本を抜く 安見 朱實
 濃紺の花瓶に映える花房は頂きし紫 陽花「墨田の花火」 林 淑子
 雑草とともに抜きしか青ジソの香り 一瞬梅雨晴れの畑 前原 ゆみ
 取り残しの何の蔓草生き生きと夏染 しむか強くしがらむ 川口 敦子
 名を知らぬ小鳥二羽来て羽繕い木漏れ日遊ぶ庭石辺り 松本 和子

高齢者大学文芸部 6月歌会

初夏の陽射しに光る紅薔薇の蕾つん つんまた曾孫増ゆ 岩木タエ子
 病押し務め励みしわが夫の叙勲受賞 に感激しばし 田中 遙子
 ゆすら梅つぶら実赤く色づきて戴き 植糸し遠き日偲ぶ 中原 光子
 扇風機の風爽やかに身に吹きて午後 の睡魔に引き込まれゆく 山城 雅子

文芸 きくち

菊池短歌会 7月詠草

阿蘇山の火山灰降り菊池まで晴天なれど窓開けられぬ 安東 綾子
 歩行車に委ねて歩めば夕立の東に鞍岳悠然と耀る 川口 敦子
 ※7月号の二首目に訂正の申し出がありましたので再掲しています。
 祖母の十指恋はずや糸車忘れ去られし敗戦の後 怒留湯健春
 白鷺の挽る真竹に陣を取りただひたすらに濁流眺む 林 まつ子
 軒先に去年の古巣もそのままに待てど帰らぬ今年の燕 村上さき江
 走り梅雨人の心とららはらに負けじと群れしあぢさゐの華 川口 幸臣
 梅雨晴れの開けられし戸にかいま見ゆハイビスカスは誰を待たむ 安藤 則子